



## “あのエンジン音はとても不愉快、”



大井町駅前で行われたデモ（写真中央：中塚）



# 羽田新ルートの運用は直ちに中止を

## 市民と議員の共同宣伝を行いました

### ほぼ毎日、低空飛行

暑い夏が続いています。季節が夏となり羽田空港は毎日のように南風運行が実施。午後3時を過ぎると、品川を低空飛行する羽田新ルートの運用が続いています。

ルート近くの方は「あのエンジン音はとても不愉快」「いつか事故がおきるのでは」「飛行機のエンジン音がうるさい。テレワークしているが、Web会議にエンジン音が入り困る」と話します。また、羽田空港の国際線増便が目的ですが、コロナで減便なのに中止で

きないとはおかしいです。

羽田新ルート運用から2年半。騒音や落下物の危険等を伴う羽田新ルート中止を求める反対運動は粘り強く続いています。

7月17日には市民と議員の共同宣伝が大井町駅前で行われ36人でアピール。政党からは共産、ネ、立憲の各区議・都議が参加（写真）し、「市街地ルートは中止を」「海上ルートに戻せ」等を訴えました。

共同宣伝は8月以降も行います。共同の力を広げ住民犠牲の羽田新ルートを中止させましょう。

# 羽田新ルート

## 「固定化回避」はゴマカシ

羽田新ルート問題を巡り、品川区や自民、公明などが「羽田新ルートの固定化回避を求める」との主張を繰り返しています。

この「固定化回避」とは一見すると、羽田新ルート中止に聞こえますが、これは「ゴマカシ」と言う事が品川区議会での論戦です。すでに明らかになっています。

品川区に「固定化回避とは、何を固定化しない事なのか」と質問すると、区は「騒音が現状から改善すること等を期待している」との説明を繰り返します。

そして「品川の上を飛ばないルートを、なぜ国に求めないのか」を区に質問すると、区は「ルートは国策。国の判断で決めること」と述べ、国に中止を求める考えが無いことも繰り返して説明しています。

つまり「固定化回避」とは、

実は、品川の上を飛ばないルートを求める事ではないのです。

また自・公は「国が固定化回避検討を進めている」と述べますが、これも「ゴマカシ」です。

検討会について、国交省は南風時の羽田空港について侵入滑走路（A・Cルート）は変更しないと説明。つまり羽田空港手前にある品川区を通過することが検討会の前提です。こちらが「固定化回避」と言いながら、品川の上を飛び続けるのです。

結局、品川の自公らは国が決めた羽田新ルートに反対できず、つまりは容認だと言う事です。

しかし、住民の前で賛成とは言いがたい。そこで批判しているポーズぐらいは示したいとの思惑から「固定化回避」との言葉を使っているのです。ゴマカシは許されません。なかつか亮

## 区政懇談会を開催

品川区は現在、大井町駅前の広町地区（旧JR広町社宅）でのJR東日本によるホテルやオフィスビル等の再開発と新庁舎建設の検討を進めています。

品川区による各地域での説明会やパブリックコメントにあたり、区政報告会を荏原第五区民集会所にて8月4日に開催。当日はズーム参加含め約50名が参加し、「なぜ、開発優先なのか」など熱心な意見交換となりました。



なかつか亮 1975年西大井生まれ／47歳／伊藤小、富士見台中、農大一高卒／イタリア料理厨房6年／27歳初当選／区議5期／予算・決算委員会副委員長を経験、現区民委員会委員長／党区議団前幹事長／家族：妻／29号線取消裁判原告／趣味：旅行 

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅  
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配布して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。